

# 「コンクリート技術大会（仙台）」参加申込書

申込み期限：平成24年10月31日（水）

送信先：(株)セメント新聞社

FAX：03-3535-5632

http://cement.co.jp

申込み日	平成24年 月 日				
御社名					
御社住所	〒				
参加される方の部署・役職・氏名		参加する行事に○をご記入ください。			
		11/8 被災地視察	11/8 講演会	11/8 懇親会	11/9 講演会
部署・役職					
フリガナ					
氏名					
連絡先	TEL				
	E-mail				
部署・役職					
フリガナ					
氏名					
部署・役職					
フリガナ					
氏名					
部署・役職					
フリガナ					
氏名					

※参加を希望される方は、事前に登録をお願いいたします。

※上記の枠内に必要事項をご記入の上、FAXにて申込み用紙をご送付ください。

インターネットのHPからお申込みいただけます。

※事前申込締切：10月31日（水）

注1）10月31日までに申込みが間に合わなかった場合は、講演会の会場受付にてお申込みください。

注2）参加のキャンセルは3日前まで有効とします。それ以降のキャンセルおよび当日不参加の場合は、参加費を返金いたしませんので、ご了承ください。

※お振込みが確認され次第、参加証（資料引換券）および懇親会参加証等を郵送します。

ご多用のところ恐縮ですが、ご連絡はお早めをお願いします。

注1）振込み手数料は各自ご負担ください。

注2）CD論文集は当日お渡しします。

■振込み先は、以下のとおりです。

株式会社セメント新聞社 事業部

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通1723664



## 第2回「コンクリート技術大会（仙台）」

～東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術～

平成24年11月8日（木）～9日（金）

併設・パネル展示会(出展社・団体25)

講演会場：フォレスト仙台（財団法人宮城県教育会館）

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45  
Tel.022-271-9340

※地下鉄北四番丁駅から徒歩6分

懇親会場：仙台勝山館

〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-1-50  
Tel.022-213-9188

参加費 大会参加費 3,000円（講演会資料CD込み）

懇親会参加費 7,000円

被災地視察（バス使用、昼食付）参加費 3,000円

申込方法 配布しましたチラシの申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。ホームページからお申込みいただけます。参加費お振込み後に参加証と資料引換券を送付します。

大会委員長：長瀧重義

協賛：(株)セメント協会、宮城県生コンクリート工業組合、  
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、  
(公社)日本コンクリート工学会東北支部、  
全国コンクリート製品協会東北支部、  
(社)日本砂利協会、(社)日本砕石協会、  
(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会、  
コンクリート用化学混和剤協会、  
(一社)日本建設機械工業会コンクリートプラント部会、  
会津土建・渡辺・日コン技術橋梁技術開発協議会、  
日本フライアッシュ協会

11月8日（木）	
9:50～14:40	被災地視察（石巻がれき処理プラントなど）
15:00～17:30	特別講演 稲田幸三 復興庁 宮城復興局次長 「宮城の復旧・復興の現状と課題」 白浜 浩 国土交通省 東北地方整備局 企画部 震災対策調整官 「東日本大震災の復旧・復興に向けた取り組み」 遠藤信哉 宮城県土木部次長 「東日本大震災からの復旧・復興 ～新生宮城の発展に向けて～」
18:00～20:00	懇親会（会場：仙台勝山館）
11月9日（金）	
9:00～16:00	技術講演会(27編) 各テーマ別(①がれき処理・補修・補強 ②放射線の除染・遮蔽・診断③復旧・復興) に3会場に分かれて論文発表及び報告を行う 基調講演会 岩城一郎 日本大学工学部教授 「“ふくしま発”市民と共に橋を守り、 道を造る!」 坂本知也 太平洋セメント生産部副部長 「大船渡工場の震災から復興までの 道のりとセメント工場の役割」 三橋博三 東北大学名誉教授・JCI東日本 大震災に関する特別委員会委員長 「東日本大震災からの教訓とコン クリート技術者に残された課題」 久田 真 東北大学大学院教授 「インフラの保守とがれき処理 ～復旧・復興の現状と課題～」

主催：株式会社セメント新聞社

〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル6階  
Tel.03-3535-0621, FAX03-3535-5632 URL:http://www.cement.co.jp/  
(担当：武部、谷口)

日本コンクリート技術株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国4-38-1 TSビル5階  
Tel.03-5669-6651, FAX03-3632-2970 URL:http://www.jc-tech.co.jp/  
(担当：山田)

## 第2回「コンクリート技術大会（仙台）」開催案内

～東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術～

コンクリート技術は、これまで社会資本の整備・充実に大きな役割を果たしてきましたが、今回の震災の復旧・復興でも極めて重要な役割を担わなければなりません。このためには、コンクリートに関連する技術者は、実際に被災地の現状を認識し、自らが果たすべき役割を世の中に発信していく責務があると考えます。

そこで、昨年10月の福島・会津若松に続いて今年も被災地である仙台にて「コンクリート技術大会」を開催することにいたしました。大会を開催する前に石巻、東松島などの被災地の復興状況をバスで視察します。技術大会を通じて復興に対して各人ができることを確認するよい機会になるものと思いますので、ふるってご参加いただけますよう、ご案内いたします。

大会委員長 長瀧重義

### 記

#### (1) 被災地視察

日時：11月8日（木）9：50～14：40

内容：石巻の震災がれきの処理プラント（鹿島JVサイト）を視察後、津波被害を受けた宮城県の海岸（石巻市魚町、東松島市野蒜地区）を訪れる予定。仙台駅前西口でバスに乗りいただき、視察後は講演会場（フォレスト仙台）で下車いただきます。途中、昼食（車内で弁当を配布）と休憩時間を設けます。

#### (2) 特別講演会

日時：11月8日（木）15：00～17：30

会場：フォレスト仙台（財団法人宮城県教育会館）2階第1・第2ホール  
稲田幸三 復興庁 宮城復興局次長  
白浜 浩 国土交通省 東北地方整備局 企画部 震災対策調査官  
遠藤信哉 宮城県土木部次長

#### (3) 技術論文発表

日時：11月9日（金）9：00～11：30

会場：フォレスト仙台（財団法人宮城県教育会館）2階第1・2ホールおよび第7会議室

#### (4) 基調講演

日時：11月9日（金）13：00～16：00

会場：フォレスト仙台（財団法人宮城県教育会館）2階第1・第2ホール  
日本大学工学部教授 岩城一郎 「“ふくしま発”市民と共に橋を守り、道を作る！」  
太平洋セメント生産部副部長 坂本知也  
「大船渡工場の震災から復興までの道のりとセメント工場の役割」  
東北大学名誉教授 三橋博三  
「東日本大震災からの教訓とコンクリート技術者に残された課題」  
東北大学大学院教授 久田真 「インフラの保守とがれき処理～復旧・復興の現状と課題～」

#### (5) 懇親会

日時：11月8日（木）18：00～20：00

会場：仙台勝山館 仙台市青葉区上杉2-1-50 (TEL) 022-213-9188

### 技術論文発表

①がれき処理、補修・補強（第1ホール） 9：00～11：30 座長：栗田守朗（清水建設）

- 1-1 コンクリートがれきのセメント硬化体としての有効利用技術の開発  
大成建設 土木技術研究所 堀口賢一
- 1-2 仮設焼却施設から発生した災害廃棄物焼却残渣とセメント固型化利用に関する検討  
西松建設 技術研究所土木技術グループ 椎名貴快
- 1-3 震災ガレキ焼却残渣を細骨材として用いたコンクリートの性状 岩手大学 羽原俊祐
- 1-4 ガランダム工法によるがれき処理について 間組技術研究所 西 正晃
- 1-5 災害廃棄物を用いたブロック製品の実用化に関する検討 大林組 技術研究所 川西貴士
- 1-6 ガラリクリート工法の開発と適用 清水建設 土木技術本部基盤技術部 久保昌史
- 1-7 極細径ステンレス鉄筋を使用した高耐久性埋設型枠の開発・実用化 日本コンクリート技術 河野一徳
- 1-8 既設防火水槽のリニューアル（耐震化）に関する提案—大地震に強い防火水槽とは—  
KCマリン工業会 高橋希久朗
- 1-9 埋め込み型ディスクとアンカーボルトを併用した耐震補強用の接合工法の開発 飛鳥建設 技術研究所 高瀬裕也

②放射線の除染・遮蔽（第2ホール） 9：00～11：30 座長：丸屋剛（大成建設）

- 2-1 放射能汚染土砂を混合したモルタルの強度及び放射能 太平洋セメント東北支店 技術部 伊神光男
- 2-2 コンクリートの放射線遮断効果に及ぼす骨材物性の影響 福島工業高等専門学校 建設環境工学科 緑川猛彦
- 2-3 太平洋セメントグループにおける放射性物質の除染・浄化に関する取り組み 太平洋セメント中央研究所 本間健一
- 2-4 高比重コンクリート「Gコン」による放射線遮蔽・格納・長期保管技法 ホクコン 営業企画部 三好祥太
- 2-5 放射性物質汚染廃棄物のプレキャストコンクリート製保管容器の開発と施工実績  
昭和コンクリート工業 清水健夫
- 2-6 焼却飛灰からの放射性セシウムの除去 福島工業高等専門学校 物質工学科 内田修司
- 2-7 放射性物質により汚染された土壌などの仮置きに用いるコンクリート容器の開発  
東京セメント工業 開発技術部 原洋介
- 2-8 銅スラグコンクリートを用いた遮蔽容器の開発 ピーエス三菱 技術本部 加藤卓也
- 2-9 汚染および設置状況に応じた遮蔽コンクリート最適設計システムの開発 構造技術研究会 木村健一
- 2-10 放射性セシウム吸着剤の開発 長岡技術科学大学 小林高臣

③復旧・復興（第7会議室） 9：00～11：30 座長：竹田宣典（大林組）

- 3-1 コンクリート塊を用いたリサイクルコンクリート 東洋建設 総合技術研究所 美浦研究所 末岡英二
- 3-2 海水・海砂を用いた自己充填型コンクリートによる震災がれき活用方法  
五洋建設 技術研究所 土木材料チーム 酒井貴洋
- 3-3 大地震対応大臣認定擁壁（高さ10.85メートルまで）の評価 ゴールコン設計部 川口将雄
- 3-4 汚水対策による環境負荷低減工法—SAVE（セーブ）の紹介— save研究会 増田智成
- 3-5 津波の影響を考慮したPC橋の設計検討 ピーエス三菱 技術本部 古村 豊
- 3-6 細骨材として銅スラグを100%用いた高比重コンクリートの施工性 若築建設 技術設計部 秋山哲治
- 3-7 新たな温度ひび割れ抑制技術の実用化展開について 日本コンクリート技術 野島省吾
- 3-8 車両などの火災によるコンクリートの火害と劣化診断 日本コンクリート技術 本田陵二
- 3-9 環境負荷を低減する寒中コンクリートの養生方法の推進について 日本コンクリート技術 山田 瞬

### 併設・パネル展示会（出展社・団体25） ホールロビー 第5・6会議室

(株)マルイ、(株)篠崎、(株)重松製作所、丸栄コンクリート工業(株)、日本コンクリート工業(株)、タケモトデンキ(株)、(株)リパティ、レコサル工業会、(株)シーエスエス、早川ゴム(株)、三谷商事(株)、(株)前川試験機製作所、放射能除染・遮蔽格納技術有限責任事業組合、KCマリン工業会、save研究会、エルスエンジニアリング(株)、(株)フローリック、前田工織(株)、日本アーチカルバート工業会、日建工学(株)、花王(株)、(株)ハザマ、愛知製鋼(株)、汚染廃棄物仮置保管施設研究会、(一社)インターロッキングブロック舗装技術会